



古新田集会 生活科、総合的な学習の時間に 学んだことを発表しました！

11月16日(木)1, 2年生は生活科、3年生以上の子供たちは総合的な学習の時間の学びの成果を発表しました。たくさんの保護者の皆様、御家族の皆様、東こども園の子供たち、そして学校運営協議会委員の皆様にご来校いただきました。

1年生は、「わくわく秋いっぱいランド」を教室に作って、秋のお店屋さんを開設しました。落ち葉やどんぐり、松ぼっくりを使って、お客さんが楽しめるゲームや遊び道具を作ってもてなしました。

2年生は、身近にある物を使って、工夫を重ねながら、教室に「動くおもちゃランド」を作りました。跳んだりねたり転がったり・・・様々なおもちゃで来場者を楽しませていました。

3年生は、「袋井の自慢」について追究したことをまとめ、発表しました。私たちが知らなかったこともたくさん教えてくれました。初めての総合の学習で

したが、集大成の発表まで友達と協力してがんばりました。

4年生は、こども園の子供たち、地域のお年寄り、目の不自由な方との交流を通して「福祉」について考えてきました。「普段の暮らしを幸せに」するためにはどんなことが大切なのか、子供たちなりに考えたことを発表しました。

5年生は、「環境」をテーマに学習してきました。諸井里山の会の方々から里山整備の歴史や思いを教えていただき、実際に里山に出掛けてどんな課題や問題があるのか、そして自分たちができることについて考えました。また、子供たちが各家庭で取り組んだ地球温暖化防止プログラムを通して学んだことについても発表しました。

6年生は、修学旅行で発見した首都東京の魅力と、歴史教室などを通して感じてきたふるさと浅羽の魅力を比較したり、共通点を探したりして考えたこと、感じたことを発表しました。様々な活動や出会った方々との交流を通して、働く

ことや自分の将来についても考えました。

自分の学びに自信をもって発表する、相手を意識して伝える、相手を大切にして聞く、本校の目標である「自分も相手も大切にする子」のステキな姿がたくさん見られた古新田集会でした。



修学旅行でのできごと・・・

東京方面に出掛けた修学旅行2日目の朝は、秋晴れの青空が広がったお天気以上に清々しい朝となりました。

宿泊したホテルで、朝食を済ませ、8時の集合時刻に間に合うように子供たちは荷物をまとめ、足早にエレベーターでホテルのロビーへと降りていきました。

私は、子供たちが去った各部屋に入り、忘れ物がないかを確認していました。「来た時よりも美しく」かつてはそんな指導もしていたなあと思い出しながら、子供たちが使った部屋を見て回りました。ベッドや枕、使用したバスタオルやタオルにコップ、残されたペットボトルやゴミなどを見ながら、「これくらいならいいかな」そう思いながら部屋から部屋を点検していました。

数部屋目に入った部屋で使用済みのバスタオルとタオルがないことに気づきました。

「どこかにまとめて置いてくれたのかな」そんなことを思いながらバスルームを開けると、きれいにたたんで床に置いてありました。片隅に整然と置いてあったので、一瞬「使わなかったのかな」と思ってしまうほどでしたが、よくよく見てみるとバスタオルの上に、一枚のメモ用紙と折り鶴が置いてあります。バスルームから明るい室内に引っ張り出して、メモを見てみました。「使い済 いつもきれいにしてくれてありがとうございます 611号室の浅羽東小学校の生徒より」と書いてありました。感動で体が震えました。カメラで写真に収め、1階まで駆け下りて「担任の先生たちに伝えたい」という気持ちを押しえながら、残りの部屋の確認作業を続けました。男子の使った部屋には「ありがとうございました」のメモ書きが残された部屋がもう一つありました。

ホテルの支配人さんのところには、一枚のお礼の手紙が届いたそうで、支配人さんからは、「こういったお客様からの言葉が私たちの働きがい、やりがいになっています。」とお礼の言葉がありました。

自分たちが使った部屋に折り鶴と「ありがとう」のメッセージを残していくという行為は、サッカー日本代表チームがワールドカップロシア大会、カタール大会で行っていたとして話題になりました。チームの文化（考え方や習慣）となっているようです。今年の始業式で、今年度の目標である「自分も相手も大切にする子」「東小の文化をつくる」につながる話として、日本代表のドレッシングルーム（更衣室）の写真を見せながら代表チームのエピソードを紹介しました。

2050年までにワールドカップで優勝するという壮大な目標を立てているサッカーの代表チーム、最近の活躍や、選手やスタッフの行いを見ていると、心から応援したくなります。そして、ワールドカップ優勝も決して夢ではないと期待させてくれます。

修学旅行における6年生の子供たちの姿には何度も何度も感心させられ、感動させてもらいました。（詳しくは学校ホームページブログに掲載しています。）しかしながら、本校における「自分も相手も大切にする子」の育成はまだまだ進行途中です。自信をもって誇れる「東小の文化」もまだまだ形作られてはいません。

それでも、子供たちの姿が私たちに自信と希望を与えてくれます。保護者の皆様、地域の皆様と心を合わせて、地域の宝を「自分も相手も大切にする子」に育てていきたいと強く強く思っています。

